NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞に学ぶ「書くこと」の力

2．学校名

徳島県阿南市立平島小学校

3．実践者名（代表者名）

野々宮　勢子　　島村　孝

4．学年

第6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

57人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞をつくろう(4実践)

7．目標（狙い）

学校生活・学習生活を向上させるため、学校新聞・学級(グループ)新聞、また壁新聞などを制作する。

8．評価の視点

・伝えたい内容にぴったり合う言葉選びや見出しの工夫を評価する。
・感想と意見の違いに気づく力や多くの情報から事実を選び出す力を評価する。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

1.平島新聞特大号を作ろう(13時間)　2.修学旅行一日目の様子を報告しよう(5時間)
3.学校新聞を作ろう(13時間)　4.平島を紹介しよう(9時間)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

○「平島新聞特大号を作ろう」
・平島の「ヒト・モノ・コト」にかかわる内容を探し出そう。(2時間)
・いくつかの候補の中から、記事にできる内容を選び出そう。(1時間)
・「見出し・小見出し作成表」を仕上げながら、インタビュー内容を決めよう。(3時間)
・インタビューに出かけよう。(2時間)
・インタビューなどから得た情報を記事にまとめよう。(3時間)
・記事を見直そう。(自分で、友だちと読み合って)(2時間)
○「自分たちの手で学校新聞をつくろう」
・修学旅行の見学先などでどのような情報を得て記事に書くか計画を立てよう。(2時間)
・約220字の記事とそれに合う写真を準備しよう。(5時間)
・推敲の方法を確認することができるようにしよう。(1時間)
・伝えたい内容が相手に伝わるかどうか、推敲することができるようにしよう。(1時間)

11．児童・生徒の反応、感想・意見

取材や写真選びに苦労をした。また、取材した内容を文章で表現するのは大変難しく何度も書き直しをした。しかし、新聞作りを通して国語の力がついたように思う。

12．成果と課題

原稿用紙を前にしても構えることなく、言葉を選びながら文字を埋められるようになったことは大きな収穫である。次年度は、「全校児童にNIE教育を」「自分の意見をもち発信できる子どもたちの育成」をスローガンに進めていくつもりである。